

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

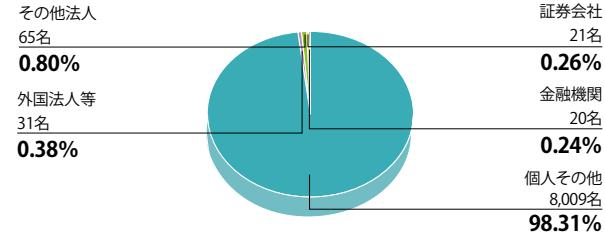
大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
1. 株式会社小松製作所	1,820,000	9.03
2. 株式会社クボタ	1,200,000	5.95
3. 三井物産株式会社	1,166,000	5.78
4. 日興シティ信託銀行(投信口)	850,000	4.22
5. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	837,500	4.15
6. 山村 章	803,400	3.99
7. 株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	2.08
8. バンクオブニューヨークヨーロッパ リミテッドルクセンブルク131800	406,400	2.02
9. 住友信託銀行株式会社	400,000	1.98
10. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	382,700	1.90

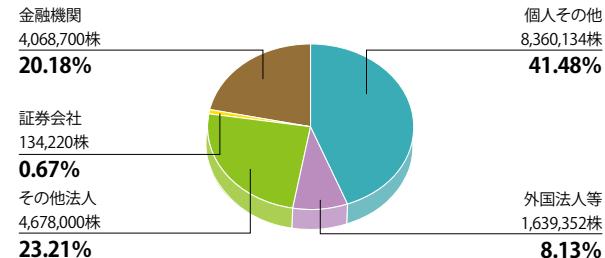
(注) 当社は自己株式1,276,144株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況

株主数(8,147名)



株式数(20,156,550株)



(注) 自己株式1,276,144株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれておりません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	定時株主総会 毎年6月
基準日	株主確定 毎年3月31日 利益配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付および)
電話照会先

(住所変更等用紙のご請求)
(その他のご照会)

同取次所

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-175-417

☎ 0120-176-417

住友信託銀行株式会社
本店および全国各支店



第27期 決算報告

BUSINESS REPORT

平成18年4月1日～平成19年3月31日

証券コード：6890

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848
URL <http://www.ferrotec.co.jp>

フェローテックは環境方針に基づき環境保全活動を積極的に推進しています。



FerroTec

株式会社 フェローテック

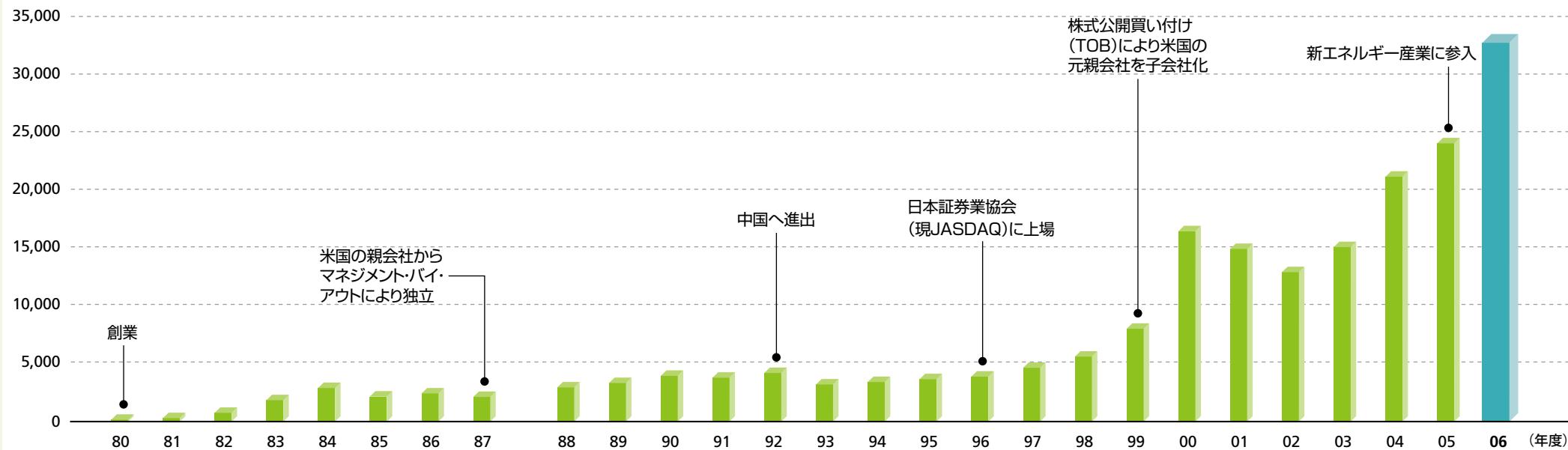
「成長」という事実。

未来への可能性を秘めた先端テクノロジーにいち早く着目し、また、自社を取り巻く市場のニーズを的確に把握し、各種産業分野の進化を支えてきた“Technology & Manufacturing Company”——フェローテック。

当社は、高度な技術力と安定的な生産力を基盤に、半導体やフラットパネルディスプレイ (FPD) の製造装置に使用される「真空シール」などの磁性流体応用製品をはじめ、自動車シートの温度を制御する半導体冷熱素子「サーモジュール」、半導体の製造工程に欠かせない石英製品など、多様な製品を各種の産業分野に幅広く提供しています。

売上高の推移

単位：百万円



創業以来、着実に売上高を伸長

当社は、磁界に引き寄せられる唯一の液体材料「磁性流体」の応用製品メーカー、米国フェローフルイディスク社の日本法人として1980年に設立されました。その後、1983年に国内工場の操業を開始し、1987年には同社からMBOにより独立。磁性流体の特性を活かした防塵シーリングの「真空シール」や「サーモジュール」など、高い市場競争力を有する製品の開発・販売を積極的に進め、1996年には日本証券業協会 (現JASDAQ) へ上場を果たしました。

成長市場へ高品質な製品を提供

こうした歩みを進めるなかで、当社はいち早く中国に着目。1992年に杭州に進出し、製造コストの低減を目的に磁性流体応用製品の生産を開始し、その後、他の製品についても中国への生産移管を順次進めてきました。現在では中国に5つの製造子会社を有し、顧客製品の受託生産などへ事業領域を拡大しています。

グローバル企業へ成長

当社は1999年に米国で実施したTOBによる元親会社フェローフルイディスク社を傘下に収めたほか、海外企業のM&Aや事業提携を通じて、世界的な販売ネットワークを構築しています。

これからも当社は、これら生産・販売におけるリソースと、創業以来培ってきた技術開発力を有機的に連携させることで、成長が見込まれる海外市場へ高品質な製品を提供していきます。

成長分野へ経営資源を集中し、グループ全体でさらなる成長をめざします。

Q まず、当期の業績についてご説明ください。

A 売上高は300億円を突破。増収増益となりました。

当社グループは、半導体およびFPD製造装置向けの「真空シール」に加え、半導体メーカー向けの「石英製品」、さらには自動車の温度調節シート向けを中心とした「サーモモジュール」や新製品の「太陽電池用シリコン単結晶引上装置」など、全事業において売上が順調に拡大しました。

この結果、当期の連結業績は、売上高が初めて300億円を突破して325億円(前期比35.8%増)、経常利益20億円(同100.0%増)となり、増収増益を達成することができました。また当期は株主還元として120万株の自

己株を取得し、期末配当を普通配当10円、記念配当2円の1株当たり12円を実施しました。

Q では、来期の施策をご説明ください。

A 半導体・FPD、電子デバイス、太陽エネルギーなど、成長分野に経営資源を集中します。

エレクトロニクス産業は、製品の需給動向、設備投資動向の変動幅が大きいという特徴があります。このため、当社グループは、特にエレクトロニクス製品の需要の低迷に対処するため、製造コストのさらなる低減と国内製造拠点の合理化、中国での生産拡大をめざしています。あわせて、欧州における販売拠点および製品開発力を強化し、売上と収益の向上を図ります。また、中国

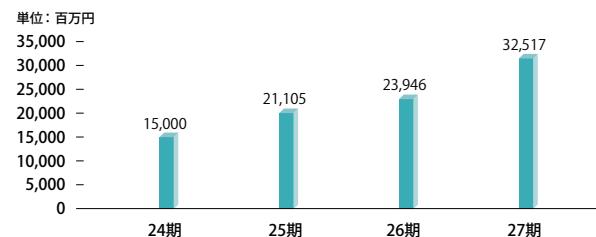


子会社への生産技術、生産管理手法などの移管を強化し、中国子会社の海外顧客からの製品認定取得拡大を促進するほか、グループ各社の連携による営業支援を強化します。さらに、太陽エネルギー分野などに向けた製品の安定的な生産量確保にも注力します。

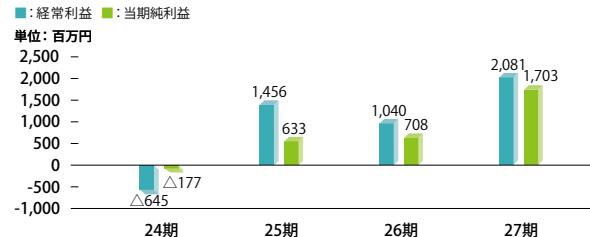
今後、当社グループは、半導体・FPD、電子デバイス、太陽エネルギー分野など、成長分野へ経営資源を集中し、グループ全体でさらなる成長をめざします。株主のみなさまには、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 山村 章

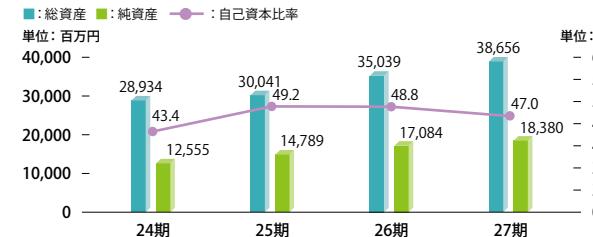
売上高



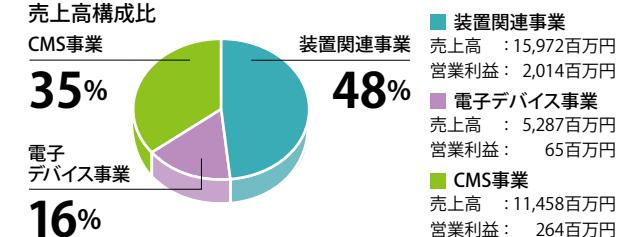
経常利益・当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



セグメント別営業概況



Technology & Manufacturing Company

特集

フェローテックが見据える市場分野。

フェローテックは、“Technology & Manufacturing Company”として、先端テクノロジーを活用して開発した市場競争力のある製品をいち早く成長市場分野へ投入することで、着実な成長を遂げてきました。ここでは、いまフェローテックが見据えている4つの市場分野と、各分野においてフェローテックが提供している製品についてご紹介します。



半導体・液晶ディスプレイ分野へ

製造工程の気密性を確保する「真空シール」を提供しています。

パソコン、携帯情報端末、デジタル家電、自動車…いまや半導体は社会の幅広い機器・製品に搭載されており、米国をはじめ、日本、韓国、台湾などの半導体メーカーは積極的な設備投資を継続しています。また、北京オリンピックや日本国内における地上デジタル放送のスタートによって、液晶・プラズマなど薄型テレビの需要はますます高まっています。

そして、これら半導体ウェーハや液晶基盤の製造は密閉された空間で加工が行なわれ、フェローテックは、その密閉空間の確保に欠かせない磁性流体応用製品「真空シール」をはじめ、シリコンウェーハの薄膜生成や洗浄工程などで治具として使用される石英製品を提供しています。





太陽エネルギー分野へ

太陽電池製造に不可欠な「シリコン単結晶」とその製造装置を提供しています。

地球の温暖化がますます進行し、石油をはじめとする化石燃料に代わる「新エネルギー」の普及が期待されるなか、エネルギー源として枯渇の心配がなく、地球上に大量に降り注ぐ太陽光を活用する太陽光発電への注目が世界的に高まっています。

フェローテックでは、太陽光発電の基幹部品である太陽電池セルに使用される「シリコン単結晶」を、主要な太陽電池メーカーに提供。また、この単結晶を製造するための「太陽電池用シリコン単結晶引上装置」を生産しています。このほか、装置内に組み込まれ熱源となる「カーボンヒータ」、原料シリコンを溶かす際の受け皿となる「石英るつぼ」も自社で生産しており、各製品の積極的な販売拡大に取り組んでいます。



電子デバイス分野へ

自動車シートの温度コントロールとして「サーモモジュール」を提供しています。

直流の電気を流すと熱が移動して一方の面が吸熱(冷却)し、反対の面が放熱(加熱)するというペルチェ効果を応用した半導体冷熱素子「サーモモジュール」を生産しています。「サーモモジュール」は、小型・軽量・振動騒音がなく、正確な温度制御が得意なことから、温度を一定に保つ必要のあるワインセラー、クーラーボックスや空気清浄機などの民生品にその用途が拡大しています。



なかでも、近年特に用途として伸長しているのが自動車シートの温度調節であり、フェローテックでは米国の自動車部品メーカーが開発した自動車シートの温度調節ユニットに「サーモモジュール」を供給しています。主要な自動車メーカーの採用車種も年々増え、需要は着実に高まっています。



産業機械分野へ

“モノづくり”の経験とノウハウを活かし、各種産業機械を提供しています。

長年にわたって培ってきた“モノづくり”の経験とノウハウを活かし、中国工場において受託生産などを展開しています。

ここ数年、中国経済の飛躍的な成長を受け、工作機械の需要が急速に拡大しています。産業機械事業においては、「NC旋盤」「マシニングセンター」「木工機械」などを受託生産しており、特に中国市場の建設・住宅産業や機械装置産業、自動車産業などの分野で広く活躍しています。

フェローテックでは、今後も中国における生産能力、オペレーションノウハウを向上させ、活発な需要を確実に捉え、産業機械の受託拡大につなげていきます。



News

「杭州大和熱磁電子有限公司」設立15周年記念式典を開催

2007年4月18日、杭州大和熱磁電子有限公司において設立15周年記念式典を開催しました。

杭州大和熱磁電子有限公司は、フェローテック初の中国生産拠点として1992年に浙江省杭州市に設立され、現在では、主力製品の「真空シール」「サーモモジュール」「石英製品」などを製造する主力工場に成長しています。

式典では、代表取締役社長の山村章が、成長の軌跡を報告するとともに、現地政府の支援や従業員の協力に対して感謝の意を述べました。

フェローテックでは、この杭州のほかにも、上海に製

造拠点を有しており、これら生産拠点の技術力・生産力の強化を通じて高品質かつ価格競争力のある製品の提供に努めています。



韓国に合弁会社「Ferrotec Korea Co., Ltd.」を設立

世界的な半導体や薄型テレビの需要の高まりを受け、韓国においてもフェローテックの半導体・FPD製造装置向けの主力製品「真空シール」の売上が拡大しています。こうしたことから、フェローテックでは、2007年4月、韓国の現地企業（KSMC社）との合弁により新会社「Ferrotec Korea Co., Ltd.」を設立しました。今後は製造拠点として現地顧客のニーズに積極的に応え、同製品のさらなる販売拡大を進めていきます。



(単位:千円)

科目	(単位:千円)	
	27期 平成19年3月31日現在	26期 平成18年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,961,604	14,465,906
現金及び預金	3,225,758	4,108,656
受取手形及び売掛金	6,725,773	5,067,014
有価証券	—	299,000
たな卸資産	3,821,929	3,504,918
繰延税金資産	127,583	123,095
その他	2,191,383	1,503,809
貸倒引当金	△ 130,823	△ 140,587
固定資産	22,694,942	20,573,640
有形固定資産	16,276,475	13,819,353
建物及び構築物	5,497,427	4,091,685
機械装置及び運搬具	5,804,241	4,602,930
工具器具備品	1,588,844	1,175,330
土地	2,590,358	2,552,077
建設仮勘定	795,603	1,397,328
無形固定資産	3,474,124	3,403,339
のれん	2,532,651	—
営業権	—	2,154,992
連結調整勘定	—	463,113
その他	941,473	785,234
投資その他の資産	2,944,342	3,350,947
投資有価証券	1,437,159	1,591,142
長期貸付金	51,716	828,728
繰延税金資産	50,500	64,017
その他	1,457,980	1,547,915
貸倒引当金	△ 53,015	△ 680,856
資産合計	38,656,547	35,039,546

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:千円)

科目	(単位:千円)	
	27期 平成19年3月31日現在	26期 平成18年3月31日現在
負債の部		
流動負債	14,869,773	11,521,418
支払手形及び買掛金	3,667,730	3,086,786
短期借入金	3,771,765	3,255,706
一年内返済予定長期借入金	2,248,992	2,549,855
一年内償還予定転換社債型新株予約権付社債	1,658,744	—
未払法人税等	130,818	469,648
繰延税金負債	8,595	10,112
賞与引当金	382,725	149,863
その他	3,000,402	1,999,446
固定負債	5,516,390	6,368,779
転換社債型新株予約権付社債	—	1,776,643
長期借入金	4,508,596	3,913,381
退職給付引当金	24,686	22,635
役員退職慰労引当金	126,300	118,900
繰延税金負債	346,047	334,876
その他	510,759	202,342
負債合計	20,386,164	17,890,198
少数株主持分		
少数株主持分	—	64,770
資本の部		
資本金	—	6,910,461
資本剰余金	—	7,784,251
利益剰余金	—	1,300,643
その他有価証券評価差額金	—	500,617
為替換算調整勘定	—	748,717
自己株式	—	△ 160,112
資本合計	—	17,084,577
負債、少数株主持分及び資本合計	—	35,039,546
純資産の部		
株主資本	16,282,787	—
資本金	6,910,461	—
資本剰余金	7,750,570	—
利益剰余金	2,800,331	—
自己株式	△ 1,178,575	—
評価・換算差額等	1,771,243	—
その他有価証券評価差額金	448,159	—
為替換算調整勘定	1,323,084	—
少数株主持分	216,352	—
純資産合計	18,270,383	—
負債純資産合計	38,656,547	—

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:千円)

科目	(単位:千円)	
	27期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	26期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	32,517,168	23,946,131
売上原価	23,476,437	17,022,507
売上総利益	9,040,730	6,923,623
販売費及び一般管理費	6,751,894	5,712,831
営業利益	2,288,835	1,210,791
営業外収益	393,781	473,925
営業外費用	600,939	643,835
経常利益	2,081,677	1,040,881
特別利益	489,736	929,015
特別損失	381,891	650,996
税金等調整前当期純利益	2,189,523	1,318,900
法人税、住民税及び事業税	430,919	502,585
法人税等調整額	42,273	112,743
少数株主利益または損失(△)	13,049	△ 5,193
当期純利益	1,703,281	708,764

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日 残高	6,910,461	7,784,251	1,300,643	△ 160,112	15,835,243	500,617	748,717	1,249,334	64,770	17,149,348
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 159,331		△ 159,331					△ 159,331
役員賞与			△ 3,115		△ 3,115					△ 3,115
当期純利益			1,703,281		1,703,281					1,703,281
自己株式の取得				△ 1,170,043	△ 1,170,043					△ 1,170,043
自己株式の処分		△ 33,680		151,580	117,899					117,899
その他			△ 41,147		△ 41,147					△ 41,147
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 52,457	574,367	521,909	151,582	673,491
連結会計年度中の 変動額合計	—	△ 33,680	1,499,687	△ 1,018,463	447,543	△ 52,457	574,367	521,909	151,582	1,121,035
平成19年3月31日 残高	6,910,461	7,750,570	2,800,331	△ 1,178,575	16,282,787	448,159	1,323,084	1,771,243	216,352	18,270,383

(注)利益剰余金の連結会計年度中の変動額「その他」は、中国子会社における財務管理規定第37条に基づく従業員奨励及び福利基金繰入額であります。

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:千円)

科目	(単位:千円)	
	27期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	26期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,049,616	4,133,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,665,518	△ 3,541,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 487,172	162,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	220,175	185,946
現金及び現金同等物の増減額	△ 882,897	940,521
現金及び現金同等物の期首残高	4,108,656	3,188,815
連結子会社減少に伴う 現金及び現金同等物の減少額	—	△ 20,680
現金及び現金同等物の期末残高	3,225,758	4,108,656

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:千円)

個別財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科目	27期 平成19年3月31日現在	26期 平成18年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,587,495	7,700,161
現金及び預金	773,223	1,464,097
受取手形	392,465	280,037
売掛金	3,331,777	2,515,761
未収入金	1,957,092	1,889,827
その他	1,132,931	1,550,433
固定資産	16,679,480	17,408,685
有形固定資産	2,896,273	2,915,663
無形固定資産	15,611	12,461
投資その他の資産	13,767,595	14,480,559
資産合計	24,266,976	25,108,846
負債の部		
流動負債	7,020,253	5,094,051
支払手形	837,450	869,310
買掛金	1,295,252	900,423
短期借入金	400,000	100,000
一年内返済予定長期借入金	1,118,674	1,266,034
一年内償還予定転換社債型新株予約権付社債	1,658,744	—
未払金	1,219,577	1,338,790
その他	490,552	619,489
固定負債	1,787,617	4,020,959
転換社債型新株予約権付社債	—	1,776,643
長期借入金	1,318,910	1,864,284
その他	468,707	380,031
負債合計	8,807,870	9,115,011
資本の部		
資本金	—	6,910,461
資本剰余金	—	7,545,239
利益剰余金	—	1,197,629
その他有価証券評価差額金	—	500,617
自己株式	—	△ 160,112
資本合計	—	15,993,835
負債・資本合計	—	25,108,846
純資産の部		
株主資本	15,010,946	—
資本金	6,910,461	—
資本剰余金	7,511,559	—
利益剰余金	1,767,501	—
自己株式	△ 1,178,575	—
評価・換算差額等	448,159	—
純資産合計	15,459,105	—
負債純資産合計	24,266,976	—

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:千円)

科目	27期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで	26期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
売上高	15,123,765	11,288,314
売上原価	12,685,716	9,045,994
売上総利益	2,438,048	2,242,320
販売費及び一般管理費	2,168,112	2,027,078
営業利益	269,936	215,241
営業外収益	499,762	563,536
営業外費用	107,287	105,670
経常利益	662,411	673,108
特別利益	492,656	906,712
特別損失	249,778	603,563
税引前当期純利益	905,289	976,257
法人税、住民税及び事業税	34,997	391,890
法人税等調整額	141,088	104,637
当期純利益	729,203	479,728
前期繰越利益	—	717,900
当期末処分利益	—	1,197,629

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 事業年度(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金						利益剰余金 合計
平成18年3月31日残高	6,910,461	5,615,387	1,929,852	7,545,239	1,197,629	1,197,629	△ 160,112	15,493,217	500,617	500,617	15,993,835
事業年度中の変動額											
剰余金の配当					△ 159,331	△ 159,331		△ 159,331			△ 159,331
当期純利益					729,203	729,203		729,203			729,203
自己株式の取得							△ 1,170,043	△ 1,170,043			△ 1,170,043
自己株式の処分			△ 33,680	△ 33,680			151,580	117,899			117,899
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									△ 52,457	△ 52,457	△ 52,457
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 33,680	△ 33,680	569,872	569,872	△ 1,018,463	△ 482,271	△ 52,457	△ 52,457	△ 534,729
平成19年3月31日残高	6,910,461	5,615,387	1,896,171	7,511,559	1,767,501	1,767,501	△ 1,178,575	15,010,946	448,159	448,159	15,459,105

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

(平成19年6月26日現在)

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	69億1,046万円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日(証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	171名
事業所	
本社	〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
関西営業所	〒541-0053 大阪市中央区本町4-6-17 本町KGビル8F
金石事業所	〒026-0302 岩手県釜石市片岸町3-35
千葉テクニカルセンター	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

役員

代表取締役社長	山村 章	社外取締役	山根 威人
常務取締役	賀 賢漢	取締役	趙 漢植
取締役	橘 誠	常勤監査役	宮田 賢一
取締役	濱本 浩志	監査役	福井 徹
取締役	吉田 勝	監査役	中元紘一郎
取締役	椿 勲		

グローバルネットワーク

国内

株式会社フェローテックオーツ(大阪)
株式会社フェローテックシリコン(東京)
アリオンテック株式会社(山形)

海外

杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市)
上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市)
上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市)
台湾飛羅特股份有限公司(台湾)
Ferrotec Korea Co., Ltd.(韓国)
Ferrotec Corporation Singapore Pte.Ltd.(シンガポール)
Ferrotec (USA) Corporation (アメリカ)
Ferrotec GmbH (ドイツ)
Ferrotec Ltd. (イギリス)
Ferrotec S.A. (スペイン)
Ferrotec S.R.L. (イタリア)
Ferrotec SARL (フランス)
SCTB NORD (ロシア)